

【SxS UDF Driver リリースノート】

SxS UDF Driver Ver 2.6.0 Windows 版（2022/3/22 リリース）の【動作環境】を更新しました。

【Ver2.6.0 で追加された項目】

- ・ Windows 11 対応

【動作環境】

この SxS UDF Driver Ver 2.6.0 は下記の環境で動作確認済です。

- ・ 対応 OS

Windows 10 Pro 64bit 22H2 ESU ※

Windows 11 Pro 64bit 25H2

※Microsoft 社から提供される、Windows10 の拡張セキュリティ更新プログラム(ESU)の購入が必要です。

- ・ メモリー

4GB 以上

- ・ HDD（空き容量）

500MB 以上

ご注意： この動作環境は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

【SxS UDF Driver の WindowsPC へのインストール方法】

- ・ 新規インストールでない場合、必ず、Windows の「プログラムと機能」または「アプリと機能」より、旧バージョンをアンインストールして下さい。
- ・ SxSUDFDriver_2_6_0_win.zip を解凍して、SxSUDFDriver_2_6_0_win.exe を実行してください。
順次表示されるインストーラーの指示に従って操作すると、SxS UDF Driver がインストールされます。
設定情報を確実に反映するため、インストール後、OS の再起動をお願いします。

【使用上のご注意】

- ・ Memory Media Utility を使用する場合

使用する場合、この SxS UDF Driver をインストールしてください。

別製品である、Memory Media Utility V5.3.0 を下記より取得し、インストールして下さい。

<https://www.sony.jp/xdcam/download/>

- ・ SxS メモリーカードを SxS Reader/Writer“SBAC-T40” もしくは、ExpressCard スロットに挿入して
使用する場合、別製品である、SxS Device Driver V3.1.0 を下記より取得し、インストールして下さい。

<https://www.sony.jp/xdcam/download/>

- ・ マシン環境の設定

- ・ ドライブの正常動作の妨げになる可能性がありますので、電力モードはハイパフォーマンスをお勧めします。
Windows の場合、コントロールパネルで電源オプション＞プラン設定の変更＞詳細な電源設定の変更を開き、
下記項目で変更します（なお、コントロールパネルの表示方法をアイコンにした場合です。表示方法をカテゴリにすると階層が深くなります）。
 - ・ [スリープ]-[次の時間経過後スリープする]・・・「なし」

- ・ [USB]-[USB 設定]-[USB のセレクトティブサスペンドの設定]・・・「無効」

なお、Thunderbolt の省電力モードについては、OS 起動前の UEFI BIOS 内で変更可能です。なお、PC の適切な BIOS 設定については、各 PC メーカーにお問い合わせください。HP 社製 Elitebook の場合、UEFI BIOS 内 Advanced > Port Options > Thunderbolt PCIe Hot plug Mode を “Native + Lower Power mode” に設定し、Main 内の Save and Exit で確定させることで変更できます。

以下のようなストレージ管理ソフトについても、一時的に無効にするか、その管理対象から除外することで改善する場合があります。

例) 常駐型のアンチウイルスソフト、バックアップツール、自己暗号化ドライブ管理サービス、RAID 管理ソフトウェアなど

- ・ OS の起動条件によっては、本製品ではなく、OS 標準の UDF ドライバが適用されてしまう場合があります。

例) UDF フォーマット済 SxS メモリーを挿入した SxS Reader/Writer を PC に接続したまま、OS を起動した場合

OS 標準の UDF ドライバが適用されると、SxS メモリーのデータ転送速度が明らかに遅くなります。
この場合は、一旦、SxS Reader/Writer を PC から外して、OS を再起動してください。
